

取手市議会の軌跡～令和3年の活動～

4月28日



音声テック 関連技術連携協定を締結

ICT化による業務効率化、技術開発をともに目指す協定が、株式会社アドバンスト・メディアと取手市議会・取手市の3者によって締結されました。この協定により、鮮明な会議映像にリアルタイムで字幕表示が可能に。聴覚障がいがある方や傍聴者への会議情報の見える化としても向上しました。



YouTube配信映像に表示された字幕

6月10日

オンライン委員会で採決を可能に

令和3年第2回定例会では、オンライン委員会にて、討論・採決を行うことができるようにする市議会会議規則の改正が行われました。これまでオンライン委員会を積み重ね



オンライン委員会での採決画面

てきたこと、タブレットによる採決システムを導入したことによって、オンラインでも安定して討論・採決を行うことができる判断のため改正に至りました。

11月12日



マニフェスト大賞・優秀賞受賞& 受賞者プレゼンテーション1位!

取手市議会・議会事務局連名にてマニフェスト推進賞の議会部門で優秀賞を受賞。また、マニフェスト大賞「受賞者の先進事例の取り組みを学ぶ研修会」では、2年連続でプレゼンテーション第1位を受賞しました。

今回の受賞は、議員・議会事務局がチーム議会と、議会愛をもって活動してきた、まさに取手市議会の特徴を体現する形での受賞となりました。

プレゼンテーションは報道番組仕立て! 映像はこちらからご覧ください!



令和3年は、取手市議会が議会改革を進める上で躍進の年となりました。数多くの取り組みを行ってきた中で、特に大きな一歩となったものをご紹介します!

6月1日

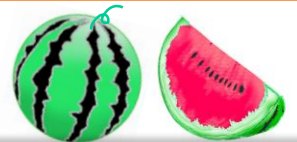
全国総合1位! 議会改革度ランキング

取手市議会は、「議会改革度調査2020」において、全国総合第1位となりました。これは早稲田大学マニフェスト研究所が、毎年、全地方公共団体議会を対象に、前年1年間の議会活動を調査し、ランキングにして公表しているものです。これまでの議会改革推進のほか、コロナ禍の中、オンラインビデオ会議システムやICTを早期に活用し、議会の機能を維持・向上したことが評価されました。



ランキング1位が発表され歓声上がる議場

8月26日



市民によるオンライン会議録作成

住民参加の議会の形を模索し、議会への関心を高める目的で、市内の高校生2人を含む11人が自宅等から、議会運営委員会の会議録初稿作成に参加。これは、協定を結んだアドバンスト・メディア社のクラウド型音声文字起こしサービスを使って、オンラインでどこからでもリアルタイムの会議録作成作業に参加できることから実現が可能になったものです。



参加した高校生

